

# 年頭ごあいさつ

元気の出る夢を共有しよう！



舞鶴商工会議所  
会頭 上西勝己

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、2010年の新春をご家族そろって  
お健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、去年は歴史的な政権交代が行われましたが、  
この結果を踏まえながら、私たちは、当面する景気・  
雇用対策はもとより、社会保障制度改革や財政の健全化、  
地方分権改革、外交や国防の在り方、それに  
少子・高齢化社会の到来に向けた家庭と地域の「絆  
(きづな)」づくりなど、国民にとって『安全安心な  
社会』の実現を目指し当事者意識を持って取り組ま  
ねばなりません。

わが国経済は、一連の緊急経済対策の効果もあつて  
最悪期を脱したといわれていますが、民間需要が  
けん引する自律的回復には未だ至っていません。特  
に、地域の雇用を支える中小企業は、自助努力をは  
るかに超えた厳しい状況に追い込まれ、地域経済は  
疲弊の度を増しています。

こうした中で、地域や日本が元気になるためには、  
地域経済と雇用を支え、また地域の伝統・文化創造  
の担い手でもある中小企業を元気にすることがな  
よりも大切であります。

これまでから、企業数の99.7%、雇用の約7割を担  
っている中小企業は、絶え間のないイノベーション  
を引き起こすことによって日本経済の活力の源泉と  
なっていました。

持続的成長のカギとして中小企業対策を最重要政  
策に位置づけ、さらなるイノベーションのため、予  
算、金融、税制等の政策面で、小規模企業、中小企業、  
中堅企業の実態に即した、きめ細かい、新たな行政  
支援策を強力に求めていきたいと考えています。

私たちのふるさと「舞鶴」は、これまで「海」と「港」  
を繁栄の礎に、産業港湾都市として歩んできました。

そして、豊かな自然と多彩な歴史が織りなす景観や  
港町の風情・美味しいグルメ食材は、私たちの誇り  
であり、観光都市としても限らない可能性を持っ  
ています。

また、この3月には、舞鶴国際ふ頭が供用開始さ  
れ、北東アジアと関西経済圏が更に近くなります。  
2014年には、なんとしても舞鶴若狭自動車道・京  
都縦貫自動車道の全線を開通し、京阪神だけでなく  
東海・北陸との距離を縮めなくてはなりません。

国内外への交通インフラが整い、これだけの地域  
資源を有する「舞鶴の可能性」を現実のものとする  
ためには、会員はもとより市民みんなが智慧と汗を  
出し、工夫を重ねることが大切です。

「ひとりで見る夢は夢でしかないが、一緒に見る  
夢は現実だ」との言葉があります。こんなときこそ、  
元気の出る、明るい「将来の夢」をみんなで共有  
したいものです。

2010年は庚寅（かのえのとら）。「寅」の字は、「動  
く」意味で、春が来て草木が発生する状態を表し  
ています。

目先の不透明感が強い時代にこそ、変化を知る、  
変化の予兆をつかむ、などじっくりとその先を見据  
えた経営が求められます。

寅に因んだことわざに、「虎穴に入らずんば虎子を  
得ず」というのがありますが、時にはリスクを恐れず  
怯まず、大きな成果をつかみ取りたいものです。

結びにあたり、2010年の皆様のご健勝ご多幸を心  
からお祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

